

子どもの医療費無料化引き上げを

日本共産党津山市議員 美見みち子



の費用が必要。国・県に対し、更なる制度の創設、充実に要望していきたい。

質問 ↓岡山県の単県医療費公費負担制度の見直しで、特に障害者の一割負担は深刻だ。県に対し、見直し反対、制度の継続を意見をあげよ。また、単市の助成の考えは。

質問 ↓乳幼児医療費が、四月から就学前まで無料となったが、更に三カ年で段階的に、中学校卒業まで無料化はできないか。

答弁 ↓負担の見直しは困難と思う。全ての対象者に複数年にわたる激変緩和措置や三級の身体障害者手帳を保持する方にも給付対象を広げるよう、市長会を通じて要望している。単市の助成は困難だ。

談合を許すのか

津山再生クラブ 河本 英敏



質問 ↓平成十六年五月二十日下水道工事入札前に業者が談合したものを紹介します。「六本でとる。倉敷の例を見るように。七月以降の入札についてもくじを引いたら・・・六本の中で本命は誰じゃ。もう分かっている

人も・・・。四月以降見積もりがいりますんで九十五を切って絶対に記録を残さんように。落札者は九十五を切っていくように。○さんこれで一巡なんじゃ。はっきりゆうてそれ決まりなんじゃ。誰々該当するん。○さん、○さん・・・の六社です。ただ気をつけにゃいけん時期で。倉敷やこ大変な事に。内部告発と書き物、押さえられとる。お金が飛んどるんじゃ。全員一致。」これでいいのか。

答弁 ↓国の流れも一般競争入札に移行するやに聞く。我々もその事を含め、真剣に考える。

アルネの県支援二十億円は早急に決着すべき

津山新星会議 米井 知博



二十億円で満たない結果となっても別の形で新しい支援を求めてはどうか。

答弁 ↓この問題は簡単ではないが、県が支援できる可能な施策を要望し、多面的な支援を得ることが長期的視点に立てば本市にとり有利と思う。

質問 ↓アルネの県支援二十億円は第三次アルネ再建案の財源となっている。この問題の責任は行政運営の継続という観点から桑山市長が引継ぎ、解決を図るべきだ。県との協議の中で

質問 ↓合併協議の中で先送りした項目の調整、財政的に難しい事業の推進はどのように調整、整理するのか。
答弁 ↓新市建設計画に記載の事業に十分配慮して第四次総合計画を策定するが、事業は相当の絞り込みを行わざるを得ない状況だ。

ごみ処理施設と最終処分場の分離を

新風会 北本 周作



計画で検討中である。
質問 ↓②ごみ処理施設と最終処分場を分離しては。

答弁 ↓最終処分場の早期確保は支出削減になるが一体整備が困難になり工事費などが割高になる分離方式についても適地選定状況から検討したい。

質問 ↓①「武道」と教育と街づくりについて。

答弁 ↓美作で育った文化を発展、特色として振興させ青少年健全育成にも役立たせる。総合武道館建設は新総合

答弁 ↓市民とふれあう事は重要で県が実施している「青空知事室」など参考に研究したい。広報活動とあわせ、公聴活動に努力し、市民の声が届く市政運営を目指す。